

令和3年度 第4回北杜市ほくと子ども育成戦略会議議事録（要旨）

1. 会議名 令和3年度 第4回北杜市ほくと子ども育成戦略会議
2. 開催日時 令和3年10月5日（火） 午後1時30分から午後4時
3. 開催場所 北杜市役所 北館3階大会議室
4. 出席者
 - (1) 北杜市ほくと子ども育成戦略会議委員
安達義通委員、天野さやか委員、江間照夫委員、岡安祐樹委員、栗原正明委員、小林佳恵委員、佐藤文昭委員、玉山桃子委員、三澤裕美委員、溝口奈緒美委員、矢崎香織委員、矢崎茂男委員、矢崎憲恒委員、吉田百加利委員

欠席者 飯田久美子委員、白倉繁委員、名取政義委員、呑田真人委員、宮崎亮子委員
 - (2) 北杜市
政策秘書部長、企画課長、子育て応援課長、教育総務課長、商工・食農課食育・地産地消担当 政策推進課長、政策推進課計画推進担当
5. 会議次第
 - (1) 開会
 - (2) 委員長あいさつ
 - (3) 議事
 - ・課題解決について意見交換
 - ・その他
 - (4) 閉会
6. 公開・非公開の別 公開
7. 傍聴人の数 4人
8. 審議内容
 - 北杜市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づく会議の公開、非公開の確認
 - 委員了承
 - (3) 議事
 - 会議録署名委員を指名。

・課題解決について意見交換

- テーマ別に4グループに分かれ、ワークショップ形式にて、第3回の会議（書面開催）で出し合った「課題解決のために行政・民間・市民にできること」について、意見交換を行い、課題解決のために「①すぐに取り組める施策」「②子どもの数を大幅に増やすために最も効果が見込める施策」をそれぞれ5つ程度まとめた。以下各グループが発表した意見。

テーマ：出会い・結婚・出産への支援

①すぐに取り組める施策

- 北杜市の特徴を活かし、農業体験や登山などをテーマにした男女の出会いの場、子育てイベントを開催し、出会いや交流につなげる。
- 市だけではなく、個人もSNS等を通じて、市の魅力を情報発信していくことで、つながりが広がり、情報が得やすくなる。
- 「恋人の聖地」へ登録を行うことで、訪れていただき、市の良さを知ってもらい、いずれは、思い出の場所が移住定住の場所へとつながっていく。
- 子育て時の収入確保のため、企業の協力を得て、副業や兼業が出来る企業の一覧情報を作成し、情報取得しやすくする。また、恋愛離れ、結婚離れしている若者に企業を通じて、直接的な働きかけをして、結婚に関心をもってもらおう。
- 行政が調整を行い、民間の結婚相談所との連携を推進し、婚活の活性化を図る。

②子どもの数を大幅に増やすために最も効果が見込める施策

- 北杜市は子育てに手厚く、充実しているが、大幅に増やすということになると、子どもは地域の宝物というメッセージを伝えるためにも子育て支援金のより一層の充実を図る。例えば、保育士、看護師など資格取得のための進学に対し、奨学給付金の増設など。
- 子育てに関する情報交換や相談などが出来る子育て中の母親父親を対象としたコミュニティ環境を充実させ、安心して子育てできる環境をつくる。また、利用者に市の広報部員になってもらうという感覚で、情報発信と交流の輪の拡大につなげる。
- 市の中心を定め、施設を集約することで、若者が集う流れをつくり、出会い、定住につながる。例えば、スポーツの拠点、音楽の拠点、山岳博物館など文化の拠点など。
- 宅地を大幅に確保して、賃貸住宅や子育て世代の住宅新築につなげる。

テーマ：若年層の転出抑制

①すぐに取り組める施策

- 若年層への各種補助事業の実施。例えば、運転免許取得やマイカー購入への補助金交付、県外大学への通学費補助拡充など。
- SDGsを絡めた自然保護施策を打ち出し、田舎（自然）好きな人をターゲットに移住定住施策を実施する。
- 二地域居住の促進を図り、定住者の増加を目指すために、子どもの通学問題を解決するデュアルスクール（都市と地方の両方の学校に通学できる）を導入する。

- 学校に投資（各学校の自由裁量予算の拡大）をして、魅力ある学校をつくり、移住の促進を図る。
- 移住相談窓口業務を充実し、おせっかいな程に相談者、移住者に関わり、移住者の不安解消と定住者増加につなげる。
- 広報やホームページに掲載する市民に必要な情報について、企業等を通じて情報提供するなど、市民が目にする機会を増やし、情報発信の幅を広くする。

②子どもの数を大幅に増やすために最も効果が見込める施策

- 給食費、授業料等すべて無料の小中高大学を設置し、北杜市を北欧化し、大幅に子どもを増やす。
- 突出した魅力ある学校をつくり、市外から子どもを呼び込む。例えば、小淵沢にあるアメージングアカデミー（サッカークラブ）。
- 市内に大学がなければ、ブランド力ある大学の付属の学校を誘致し、子どもを増やす。
- 1ヶ月5万円以上の居住費を補助し、貧困のないまちのようなフレーズをつくり、人口を増やす。
- 安心して子供を産み育てられる市にするため、出産補助事業を拡大する。

テーマ：働く場の確保・働き方改革

①すぐに取り組める施策

- 手元にあるいろいろなネタを活用して、市の魅力を SNS で情報発信する。
- 地元産の野菜やフルーツを活用して地元企業とコレボレーションを行い、商品化し、北杜市のブランド化を発信する。
- 小規模な公共施設を活用して、起業、就農支援を行い、新たな価値を創出する。
- 市民（特に子ども）の移動手段の確保を図るため、安価なハイヤーやUberを整備する。
- 子育て世代の負担軽減のため、家事、育児、子どもの習い事の送迎などの代行サービスを行う総合サービスセンターの設置。
- 放課後、休日の子ども（障がい児含む）の居場所を確保し、保護者が安心して働くことが出来る環境の整備。

②子どもの数を大幅に増やすために最も効果が見込める施策

- 豊かな自然環境、地元産農畜産物を活用した食育などを通じて、すくすく元気な子供が育つといった子育ての街をブランディングし、情報発信する。
- 自然との調和など自然環境との共生が理念の企業に特化して誘致を行い、雇用創出を図る。
- 親の将来や自分の将来の不安解消のため、福祉の充実と交通インフラの整備し、移住につなげる。

テーマ：移住・関係人口の増加

①すぐに取り組める施策

- 支援制度や地域コミュニティ情報を充実させ、移住者目線で、移住ポータルサイトをブラッシュアップする。
- 田舎くらし案内人を設置し、新規移住者を先輩移住者に繋げて、不安解消や交流を図り、定住につなげる。
- 人気が高い子育て支援住宅の入居期限について、延長規定を撤廃し、5年で入居者の入れ替えを行い、多くの方に居住いただき、市への定住者を増やす。
- リノベーション可能な格安賃貸空き家を多く発掘する。
- シェアオフィスやコワーキングスペースの情報発信とコミュニティづくり。リモートワークグッズの貸し出し。

②子どもの数を大幅に増やすために最も効果が見込める施策

- リアルな情報を得ることが出来るよう地元の住民、移住者や移住希望者が参加するオンラインサロンの設置。
 - 市内のお試し住宅は、団地の一室なので、トレーラーハウスやタイニーハウスなどを使い、実際に自然の中でお試し生活ができるように整備し、市の魅力を実感していただき、移住者の増加を図る。
 - 市内に出産できる産婦人科がないので、充実した出産支援策を打ち出すことで、出産に関しての不安を取り除き、移住定住につなげる。
 - リノベーション可能な空き家の賃貸。
 - 起業家やITテクノロジーに強い人材育成の実践型教育施設を設立する。
- グループ発表後、投票形式で各施策の評価を行う。

(事務局)

- 次回は、11月2日火曜日、午後1時30分から市役所大会議室で開催。

終了